

iRiver

iFP-500 Series

アイリバージャパン株式会社

www.iRiver.co.jp

※本書の内容を無断で複写、転載禁止します。

※当社では常に製品の改善を行っており、お客様のお買上げ時期によっては同一製品の中にも多少差があるものがございますがご了承ください。また取扱説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※本書内容については、将来予告なしに変更することがあります。

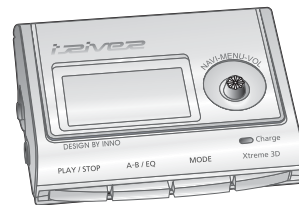
(2003.9)

FM
TUNER
MP3
DIGITAL AUDIO



取扱説明書

**Digital Audio player/
Recorder/FM Tuner
Model iFP-500 Series**



FirmwareUpgradable

お買い上げありがとうございます。
ご利用前に本取扱説明書をよくお読みください。

www.iRiver.co.jp

iRiver

＜お断り＞

同梱されていますインストールCDに、MoodLogicというソフトウェアが含まれていますが、日本語環境では適切に動作しないため、日本でのサポートの対象外とさせていただきます。何卒ご了承ください。

本機はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の条件の対象となります。(1) 本機は(他の通信設備に対して)電波障害となりうるような操作を行ってはならない。かつ(2) 本機は(本機にとって)望ましくない動作を生じえる、他の通信設備からの干渉を受容しなければならない。

注意：この機器は試験の結果FCC規則第15部に従って、クラスBデジタル機器の制限に準拠すると裁定されました。この制限は家庭設置における有害な干渉に対し十分な保護を提供するために設けられたものです。この機器は無線周波数エネルギーを発生し利用し放しますが、指示通りに設置されかつ使用されなかった場合には無線通信に有害な干渉を生ずることがあります。しかし、特定の設置で干渉を発生しない保証はありません。この機器が万一ラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じた場合、利用者は本機をON/OFFすることによりこれを識別することができ、以下の手段の1つまたは複数により干渉を修正することを推奨します。

- －受信アンテナを再調整する、または設置場所を変更する。
- －本機と受信機の分離を増進する。
- －受信機が接続されている端子と異なる回路の端子に本機を接続する。
- －販売店または実績あるラジオ/テレビ技能者に相談する。

注意：本機の許可されない改造から生じるラジオやテレビへの干渉について製造業者は責任がありません。このような改造は本機を運用するユーザーの権利を無効にします。

| | |
|-------------------|---|
| 1. はじめに..... | 1 |
| 2. 各部の名称..... | 2 |
| 3. 基本操作..... | 3 |
| 4. 便利な機能..... | 4 |
| 5. プログラムの使い方..... | 5 |
| 6. 追加情報..... | 6 |

1. はじめに

| | |
|------------------------|-----|
| 目次..... | 1 |
| iRiver Webサイトのご紹介..... | 1-1 |
| 本製品の特徴..... | 1-2 |

- ・ URL : www.iRiver.co.jp
- ・ 弊社や各製品について、またはお客さま・技術サポートについて最新情報をご覧ください。
- ・ ファームウェアのダウンロードによりプレーヤを更新します。ファームウェア更新により新しいコーデックへのサポートが可能です。
- ・ サポートコーナーではお客さまから頻繁にいただくご質問に対する解答が「よくある質問」に掲載されています。
- ・ 効率よいサポートをさせていただくために、iRiver製品のオンライン登録をお勧めします。
- ・ 本説明書に記載された内容は、本製品の機能向上や仕様変更により予告なしに変更されることがあります。

iRiver社は、本書の誤記や省略、ないし本書に含まれる情報の更新について一切の責任を負いません。iRiverは大韓民国その他の国におけるiRiver社の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Microsoft Windows MediaとWindowsロゴは合衆国その他の国におけるMicrosoft社の商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は各国や各組織の商標です。その他すべての商品名は関連する企業の商標であることがあります。

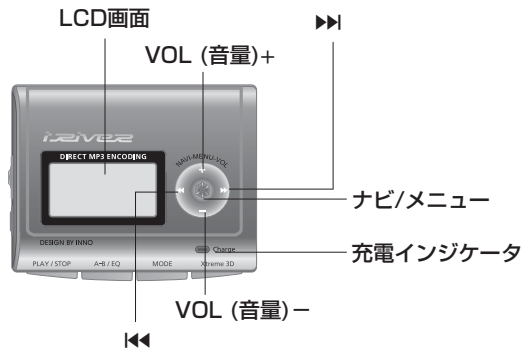
© 1999-2003 iRiver社 iRiver Limited. All rights reserved.

- **独自のデザイン**
- **マルチコーデックプレーヤ**
MP3、WMA、ASFフォーマットをサポート
- **弊社ホームページにて最新ファームウェアを提供**
- **多言語サポート**
iFP-500シリーズは多言語表示が可能（39言語）。
- **FM機能**
オートプリセットや周波数メモリ機能により、お気に入りのFM局の設定が可能。
- **6つのEQ設定**
ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、Uバス、メタル
- **XtremeEQとXtreme 3D**
XtremeEQによってご自分のEQをカスタマイズでき、Xtreme 3Dによってバスサウンドとサラウンドサウンドを向上させることができます。
- **GUI（グラフィック・ユーザー・インターフェース）メニューシステム**
- **使いやすいナビゲーション**
簡単な操作で曲を探すことができます。
- **最大8階層のサブフォルダでトータルのフォルダ数500、ファイル数1500を同時サポート**
- **ユーザー作成再生リスト**
- **ダイレクトMP3エンコーディング**
サンプリング周波数11.025KHz-44.1KHz、ビットレート8Kbps～320Kbps
- **FM放送、音声、他の機器のライン入力を録音**
音声録音レベルはAGC機能で自動制御
- **組込みの光出力端子**
- **使いやすいネックストラップ**
- **USBケーブルから直接充電する組込みの再充電可能バッテリー**

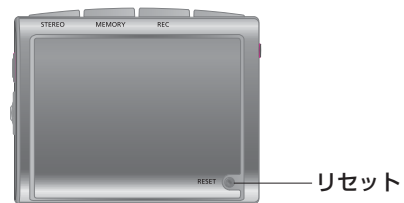
2. 各部の名称

| | |
|------------|-----|
| 目次..... | 2 |
| 前面、後面..... | 2-1 |
| 側面..... | 2-2 |
| LCD画面..... | 2-3 |

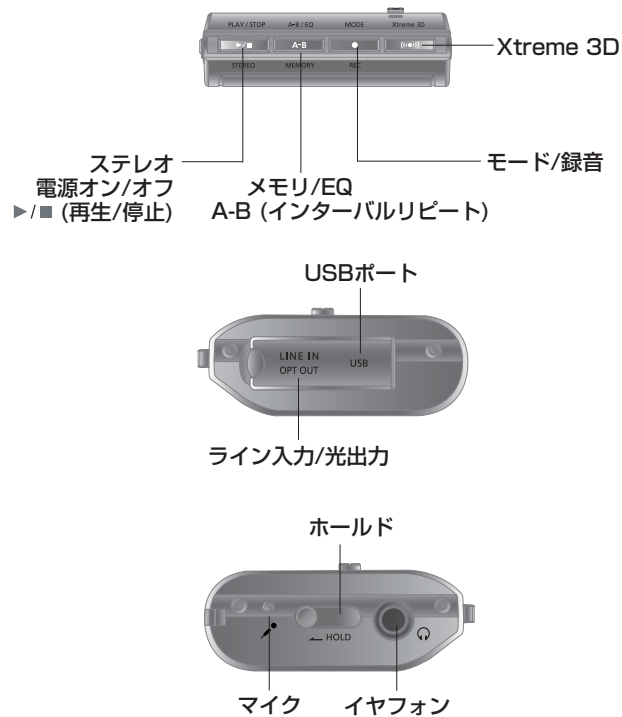
前面



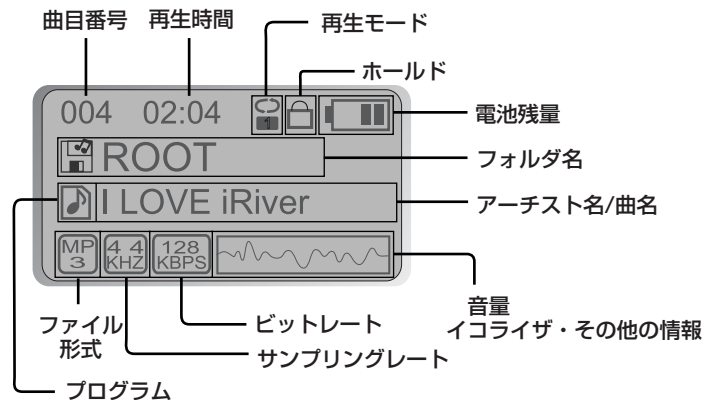
後面



側面

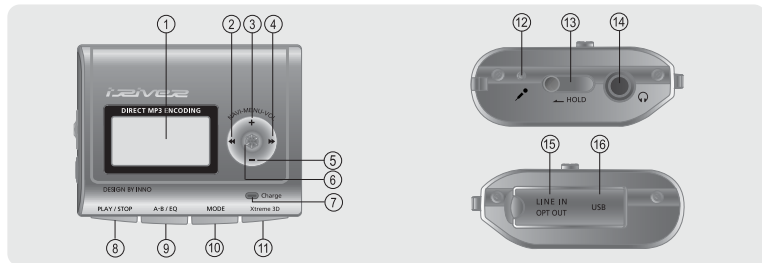


LCD画面



3. 基本操作

| | |
|-----------------------|-----------|
| 目次..... | 3 |
| 基本操作..... | 3-1/3-4 |
| 音楽を聞く..... | 3-5/3-6 |
| FMチューナーの操作..... | 3-7/3-10 |
| FMラジオを録音する..... | 3-11 |
| 音声を録音する..... | 3-12/3-13 |
| 外部オーディオソースから録音する..... | 3-14/3-17 |
| プレーヤを充電する..... | 3-18 |



ナビゲーション



1. LCDウィンドウ：プレーヤーの動作状況を表示
2. 前のトラックまたは前のFM局へスキップ
3. ボリュームを上げる
4. 次の曲または次のFM局へスキップ
5. ボリュームを下げる
6. ナビ/メニュー機能の選択
7. 充電インジケータ：充電状況を表示
8. 再生と停止、FMモードの選択、電源オフ
9. EQモードの選択、A-Bリピート、FM局の自動保存
EQ : NORMAL → ROCK → JAZZ → CLASSIC → U BASS → METAL → Xtrm
EQ → Xtrm 3D

メニュー

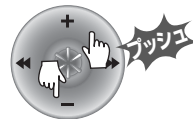


10. 再生モード、録音スタートおよび停止
11. Xtreme 3D：サラウンド音響が楽しめる
12. マイク：音声の録音用
13. ホールド：HOLD機能を使用可能/使用不能にする
HOLDが使用可能になっているとボタンは作動しない
14. ヘッドフォン/イヤフォン端子
15. ライン入力：外部オーディオソースからの録音。光出力：外部オーディオ機器（ホームステレオなど）への出力。
16. USBポート

基本操作



- **ボリューム調整**
「+」ボタンを押してボリュームを上げ、「-」ボタンを押してボリュームを下げます。

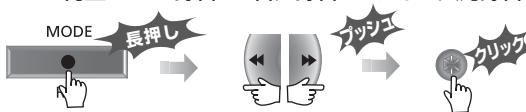


- **FMを聞く時のFMモード(STEREO/MONO)選択**
PLAY / STOP クリック (3-7ページをごらんください)



機能変更

MP3再生 → FM録音 → 音声録音 → ライン入力録音



ナビゲーション

「ナビ/メニュー」ボタンを押し、「+」ボタンか「-」ボタンを押して聞きたい曲を探します。曲を選ぶには、「ナビ/メニュー」ボタン、「▶/■」ボタン、「▶/■」ボタンを押します。

上の階層のフォルダに移るときには「◀◀」スイッチを押します。
上の階層にフォルダがないときはナビゲーションが止まります。

メニュー

「ナビ/メニュー」ボタンを長く押すとメニューに入ります。

- (1) メニューからメニューへの移動：「▶▶」または「◀◀」を押します。
- (2) 終了：「-」ボタンを押すか、「ナビ/メニュー」ボタンを押し続けます。
- (3) 機能の選択：「ナビ/メニュー」ボタンを押します。

モード

オーディオファイル再生中またはプレーヤが停止モードのときに「モード/録音」ボタンを押すと、「リピート」や「シャッフル」などの選択モードに変わります。

「モード/録音」ボタンを押し続けます。
MP3/FM/音声/ライン入力による録音が選択できます。
(MP3を選択すると自動的に再生モードに入ります)

プレーヤ内のファイルを消去する

- 1 再生を停止します。



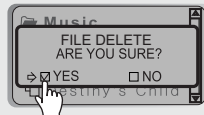
- 2 「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



- 3 「ボリューム+」ボタンか「ボリューム-」ボタンを使って消去するファイルを選びます。



- 4 「モード」ボタンをクリックします。
「FILE DELETE ARE YOU SURE?」というメッセージが画面に表示されます。
「◀◀」または「▶▶」によって「YES」を選び消去します。次に「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



プレーヤ内のフォルダを消去する

- 1 再生を停止します。



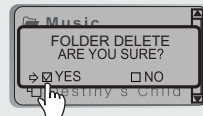
- 2 「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



- 3 消去するフォルダを選びます。

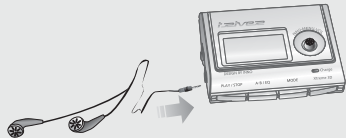


- 4 「モード」ボタンをクリックします。
「FOLDER DELETE ARE YOU SURE?」というメッセージが画面に表示されます。
「◀◀」または「▶▶」によって「YES」を選び消去します。次に「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



注意 消去できるのは空のフォルダのみです。フォルダを消去するには最初にフォルダの中のファイルを消去しなければなりません。

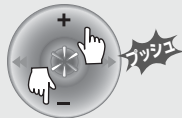
1 以下のようにイヤフォンを接続します。



3 「再生/停止」ボタンを押してプレーヤをオンにします。
もう一度押すと再生が開始されます。



5 ボリュームの調整
「+」：ボリュームを上げる
「-」：ボリュームを下げる



2 「ホールド」スイッチをオフにします。



4 曲を選択する。
◀◀：前の曲を選択します
▶▶：次の曲を選択します



注意

- 「ホールド」スイッチがオンのときプレーヤのボタンは機能しません。
- 停止状態にあるときや録音スタンバイモードの時、プレーヤはメニューの「STOP POWER OFF」設定に従って自動的に電源が切れます。(4-14ページを参照してください)



■ プレーヤの電源を入れます



■ 再生します



■ モードを変更します (MP3 → FM → 音声録音 → ライン入力)



■ 停止します



■ 次の曲に進めます



■ 前の曲に戻ります



■ 次のフォルダを演奏します



■ 前のフォルダを演奏します



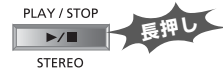
■ 早送りします



■ 巻き戻しします



■ プレーヤの電源を切ります



- オーディオ再生中「モード/録音」ボタンを押し続けます。



- 「|◀◀」「▶▶|」スイッチを押してFMラジオを選択します。
「ナビ/メニュー」ボタンを押して確定します。



- 「ステレオ/再生/停止」ボタンを押してステレオ/モノラルを選択します。



お気に入りの選択する (FM76.0~108MHz)

- 1 周波数を変更するには「|◀◀」や「▶▶|」スイッチを左や右に押します。
(例：87.5→87.6)

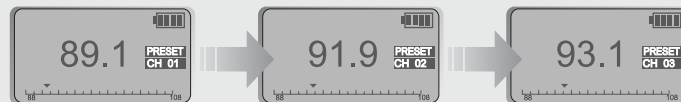


- 2 オートスキャン機能：自動的に局を選択するには、「ナビ/メニュー」ボタンを押し、「|◀◀」や「▶▶|」スイッチを左や右に押して局を探します。



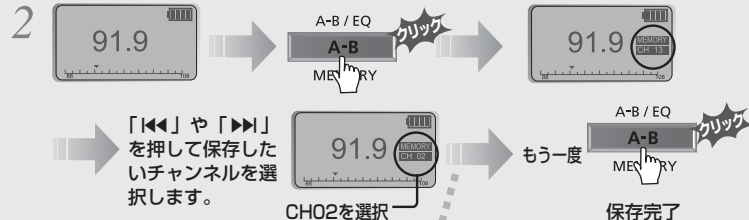
- 3 プリセットモード：メモリに保存した局を選択するには、「ナビ/メニュー」ボタンを押し、「|◀◀」や「▶▶|」スイッチを左や右に押して局を探します。

(例：89.1→91.9)



メモリ機能（チャンネルの保存）

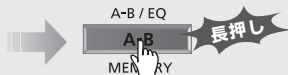
1 「◀◀」や「▶▶」スイッチを左や右に押して周波数を選択します。



3 最大20局まで保存できます。

4 オートメモリ機能
周波数を自動的に選択して順番に保存します。
(プレーヤがプリセットモードでないときに動作します)

▶ 電波の弱い地域ではオートメモリが機能しないことがあります。



メモリ削除機能（保存したチャンネルの削除）

1 プリセットモードで削除する局を選択します。

2 「メモリ」ボタンを長押しします。



- チャンネル削除が完了すると次の局が表示されます。
次のチャンネルも削除したいときは「メモリ」ボタンを押します。

注意

- * FMチューナー受信は地域により異なります。
- * プリセットモードでは、オートスキャンとオートメモリの機能は使用できません。
- * プレーヤにチャンネル設定がないときは、プリセットモードで「EMPTY」が表示された後に消えます。

● 「再生/停止」ボタンを押してプレーヤの電源を切ります。




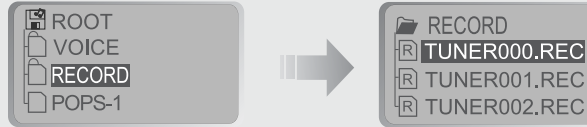
FMを録音する

FM受信中に  「モード/録音」ボタンを押します。



FM録音を停止する

もう一度  「モード/録音」ボタンを押して録音を停止します。
録音したファイルが [TUNER000.REC] として保存されます。
[RECORD] フォルダに保存されています。



録音ファイルを再生する

MP3モードに変更してから、[RECORD] フォルダから [TUNERXXX.REC] ファイルを選択し、「再生/停止」ボタンを押します。

FM録音を一時停止する

「▶/■」ボタンを押して録音を一時停止します。もう一度「▶/■」ボタンを押して録音を再開します。

注意 録音中はボリュームを操作できません。

音声を録音する

1 「モード/録音」ボタンを長押しします。



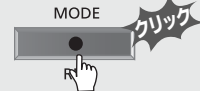
2 「◀◀」や「▶▶」のスイッチを押して「音声モード」を選択します



3 「ナビ/メニュー」ボタン（または「再生/停止」）を押して「音声録音モード」に入ります。

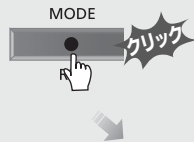


4 「モード/録音」ボタンを押すと音声録音が始まります。



録音の停止

「モード/録音」ボタンを押します。



注意

- * 録音ファイルは[VOICE] フォルダに [VOICEXXX.REC] として保存されます。
- * LCDに [00:00:00] の表示が出るときはプレーヤのメモリが一杯です。ファイルやフォルダを削除して空きスペースを作って録音して下さい。(3-4、5-19、5-30、5-39ページを参照してください)
- * 録音の歪みをさけるためプレーヤを音源に近づけすぎないでください。

録音ファイルを再生する

「再生/停止」ボタンを押します。

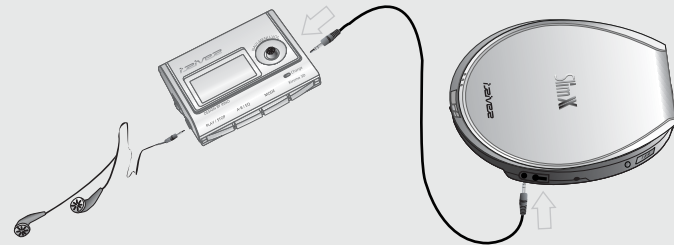


音声録音を一時停止する

録音中に「▶/■」ボタンを押します。
もう一度「▶/■」ボタンを押して録音を再開します。

外部オーディオ機器から録音する

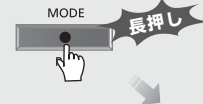
- 1 外部機器の「ライン出力」ジャックをプレーヤの「ライン入力」ジャックに接続します。



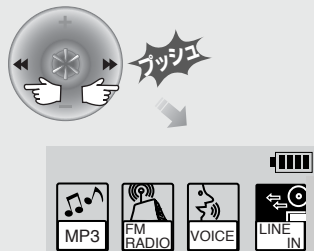
- 2 メニューで [Line In Recording Mode] モードを設定します。(詳細は4-16ページを参照してください)



- 3 「モード/録音」ボタンを長押しします。



- 4 「◀◀」や「▶▶」のスイッチを押してライン入力モードを選択します。



- 6 「モード/録音」ボタンを押すと録音が始まります。



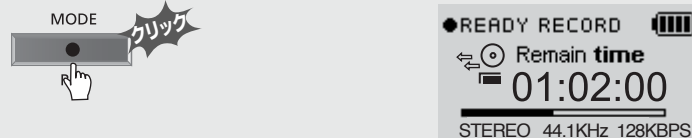
- 5 「ナビ/メニュー」ボタン（または「再生/停止」）を押してライン入力録音モードに入ります。（録音待機モード）



- 7 必要であれば、外部機器の再生ボタンを押して再生を開始します。

録音の停止

- 1 「モード/録音」ボタンを押します。



- 注意**
- 録音ファイルは順番に [AUDIO000.REC]、[AUDIO001.REC]... として保存されます。[RECORD] フォルダに保存されます。
 - 外部マイクを利用するには、「ライン入力/外部マイクコントロール」メニューのEXT. MICを選択します。（4-16ページを参照してください）
 - 外部マイクを使用して録音されたファイルは [EXMIC000.REC] として保存されます。

録音ファイルの再生

<方法1>

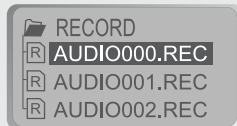
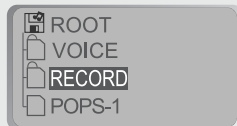
- 「再生/停止」ボタンを押します。



録音ファイルの再生

<方法2>

- 1 「ナビ/メニュー」ボタンを押してから、「ボリューム+」や「ボリューム-」スイッチを使って録音ファイルを選択します。

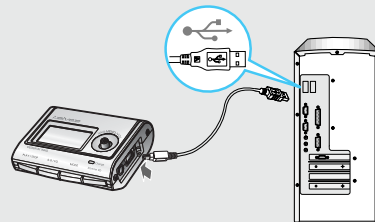


- 2 「再生/停止」ボタンを押します。



USBケーブルを使用して充電する

USBケーブルをプレーヤおよびPCに接続します。iFPバッテリーが充電を開始します。

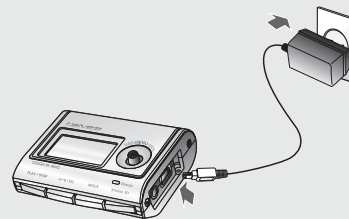


注意

- プレーヤの電源がオフになっていても、プレーヤは充電します。
- 充電が完了すると、充電インジケータのライトが消えます。

ACアダプタを使用して充電する

プレーヤと同梱されているAC電源アダプタをプレーヤのUSBコネクタに接続します。



注意

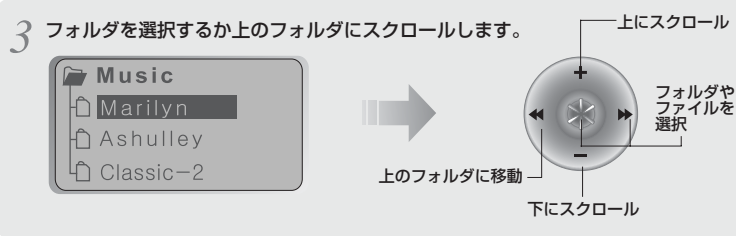
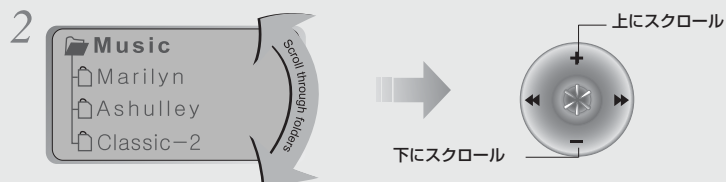
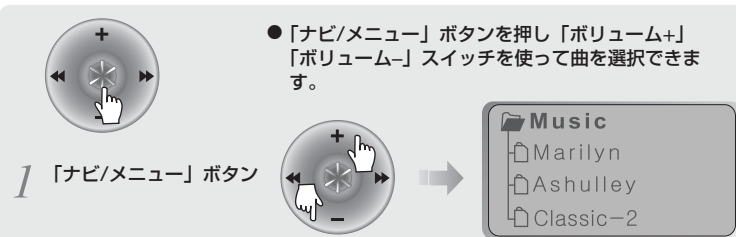
- プレーヤの電源がオフになっていても、プレーヤは充電します。
- 充電が完了すると、充電インジケータのライトが消えます。

注意 充電時間：約2.5～3時間
(フル充電/停止モードの場合)

4. 便利な機能

| | |
|---------------|----------|
| 目次..... | 4 |
| ナビゲーション..... | 4-1 |
| 再生モード..... | 4-2/4-3 |
| プログラムモード..... | 4-4/4-6 |
| EQモード..... | 4-7 |
| メニュー..... | 4-8/4-22 |

■ ナビゲーションはトラックを検索するために使用する機能です。

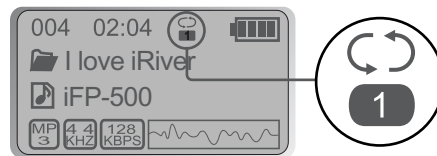


4 トラックを選択します。







モード

再生中に「モード/録音」ボタンをクリックすると「リピート」や「シャッフル」等の再生モードを選択することができます。ユーザー設定については「モード機能制御」(4-18ページ)を参照してください。







◀ 「モード/録音」ボタンが押されたとき、再生モード表示のアイコンが変わります。


■ リピート

| | |
|---|----------------------------|
|  | 1つのトラックをリピート再生します。 |
|  | フォルダの中のすべてのトラックを再生して停止します。 |
|  | フォルダの中のすべてのトラックをリピート再生します。 |
|  | プレーヤの中のすべてのトラックをリピート再生します。 |

■ シャッフル

| | |
|---|---------------------------------|
| SFL | プレーヤの中のすべてのトラックをランダム再生し停止します。 |
| SFL  | 1つのトラックをリピート再生します。 |
| SFL  | フォルダの中のすべてのトラックをランダム再生して停止します。 |
| SFL  | フォルダの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。 |
| SFL  | プレーヤの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。 |

■ イントロ






| | |
|---|--|
|  | INTRO : 各トラックの最初の10秒を順番に再生します。 INTRO HIGHLIGHT : 各トラックの1分からの10秒間を順番に再生します。「メニュー」でこの機能を設定できます。(4-18ページを参照してください) |
|---|--|

A-B / EQ

A-B

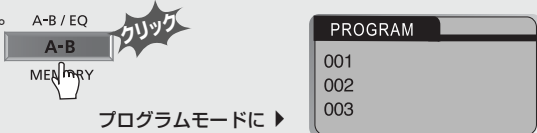
MEMORY

- **プログラムモード** : ユーザーが再生リストを作成できます。


NOTE プログラムモードでは、、 および  のみがサポートされた再生モードです。[VOICE] フォルダまたは [RECORD] フォルダ上のファイル再生中は、 と  のみがサポートされた再生モードです。

プログラムモードの起動

1 再生を停止します。



プログラムモードに ▶ なります。

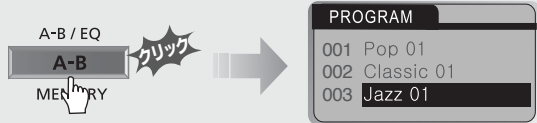
- ▷ プログラムモードは停止モードから起動します。
- ▷ 再生中はリピートA-Bが起動します。  A▶B

- 2 「ナビ/メニュー」ボタンを押してから「ボリューム+」「ボリューム-」スイッチを使ってプログラムする曲を選択します。



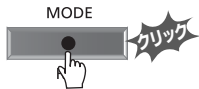
- ▷ 「ボリューム+」「ボリューム-」スイッチを押してフォルダを選択してから、「メモリ/EQ」ボタンを押してフォルダの中のすべてのファイルを保存します。サブフォルダがある場合は機能しません。

3 「メモリ/EQ」ボタンを押してプログラムリストを保存します。



プログラムリストからファイルを削除する

「モード/録音」ボタンを使って削除するファイルを選択してから「メモリ/EQ」ボタンを押します。プログラムリストが自動的に変更されます。



■ プログラムしたすべての曲を削除するには「メモリ/EQ」ボタンを長押しします。

プログラム再生

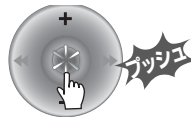
プログラミングしてから  を押してトラックを順番に再生します。

プログラムモードのアイコンが表示されます。



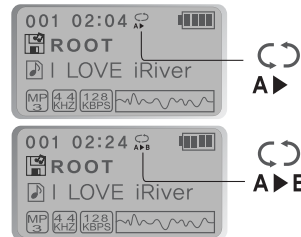
プログラムモードの終了

「停止」を押してから



インターバルリピート

- 選択したインターバルをリピート再生します。

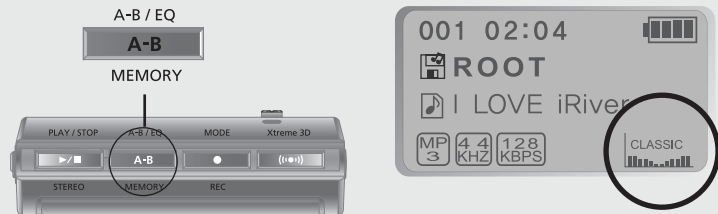


ボタンを一度押して開始<A>ポイントを選択します。

もう一度ボタンを押して終了ポイントを選択します。

▲ A-Bインターバルがリピート再生されます。

EQモード



「メモリ/EQ」ボタンを長押しして現在のEQを表示します。
このボタンを押すたびにEQモードが順番にスクロールします。



注意

Xtreme EQ設定については「メニュー」（4-20ページ）を参照してください。
Xtreme 3D設定については「メニュー」（4-21ページ）を参照してください。



機能は、ファームウェアバージョンによって異なる場合があります。
また、ユーザー独自の設定を構成することができます。

構成

GENERAL

- ☐ beep volume
- ☐ resume
- ☐ fade in
- ☐ language
- ☐ load default

DISPLAY

- ☐ back light
- ☐ lcd contrast
- ☐ visualization
- ☐ scroll speed
- ☐ tag information
- ☐ time

TIMER

- ☐ sleep
- ☐ pwr off

CONTROL

- ☐ fast skip
- ☐ scan speed
- ☐ voice recording mode
- ☐ voice auto detection
- ☐ tuner recording mode
- ☐ line-in recording mode
- ☐ line-in recording volume
- ☐ line-in auto-sync
- ☐ line-in/ext. mic
- ☐ download activity

MODE

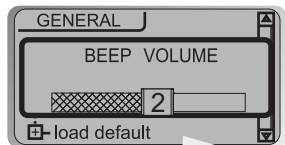
- ☐ repeat
- ☐ shuffle
- ☐ intro
- ☐ study
- ☐ name

SOUND

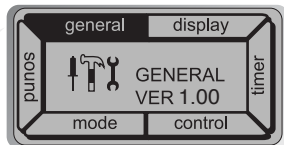
- ☐ Xtreme EQ
- ☐ Xtreme 3D
 - ☐ DBE setting
 - ☐ 3D EQ setting
- ☐ sound balance
- ☐ eq limit
- ☐ eq select

メニュー操作

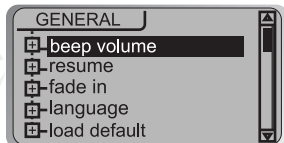
- 「ナビ/メニュー」 ボタンを押し続けメニューを表示します。
- 6つのメインメニューとサブメニューで構成されています。



▼ メインメニュー



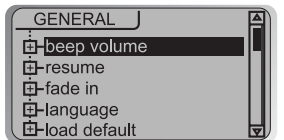
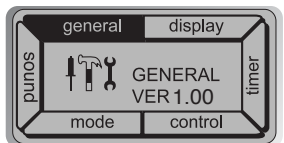
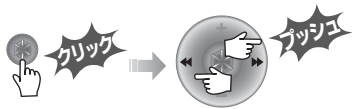
▼ サブメニュー



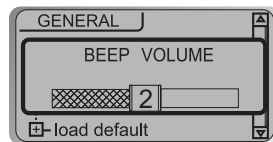
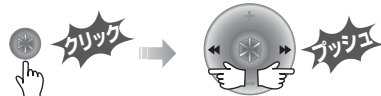
■ メニュー間の移動

「◀◀」や「▶▶」のスイッチを押してメニュー間を移動します。

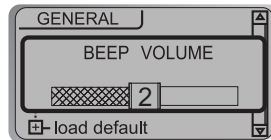
■ メインメニューからサブメニューへ



■ サブメニューに入ります。



■



▽ 各制御オプションは次のボタンを使って設定します。



■ サブメニューの終了



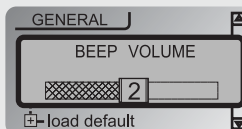
■ メインメニューの終了



GENERAL (一般)

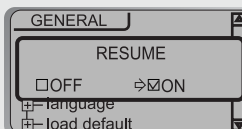
■ BEEP VOLUME

ビーブオンのレベルを設定します。
オフにするには「0」にします。



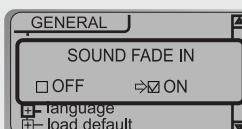
■ RESUME

オンにしておくと「停止」や「電源オフ」の後でプレーヤは停止した場所から再生します。



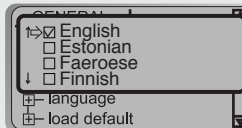
■ FADE IN

オンにしておくと再生開始時、ボリュームが徐々に大きくなり突然の大音量を防止します。



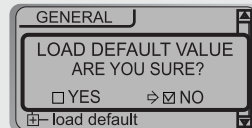
■ LANGUAGE (39言語をサポート)

曲名とID3タグ情報は、作成に使用したPCのOSのバージョンによって異なります。(たとえば、MP3ファイルをWindowsの日本語バージョンで作成するとき、曲名を正しく表示するためには言語の設定をJapaneseにしなければなりません)



■ LOAD DEFAULT VALUE

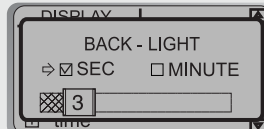
メニュー設定を出荷時の設定に初期化します。
ボタン操作の順序は以下になります。
「ナビ/メニュー」をクリック(設定初期化選択) → 「1<<」([YES]を選択) → 「ナビ/メニュー」をクリック([YES]を選択:初期化)



表示

■ BACK LIGHT

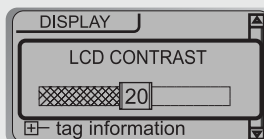
バックライトが点灯している時間を調整できます。
秒: バックライトが0から30秒間点灯しています。
分: バックライトが0から30分間点灯しています。
「ナビ/メニュー」ボタンを押して秒/分を設定します。



■ LCD CONTRAST

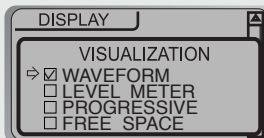
LCDコントラストを調整します。

「1<<」や「1>>」のスイッチを使ってコントラストを調整できます。



■ VISUALIZATION

再生モードでオーディオ信号、トラックの経過時間、メモリの空き容量を選択できます。



WAVEFORM(波形) ▶

LEVEL METER(レベルメーター) ▶

PROGRESSIVE(進行) ▶

FREE SPACE(空き容量) ▶

■ SCROLL SPEED

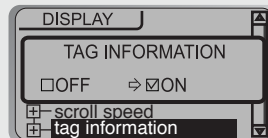
タグのスクロール速度を1倍/2倍/4倍/垂直/水平に調整できます。
Vertical (垂直) : 上下にスクロールします。
Horizontal (水平) : 左から右へスクロールします。



■ TAG INFORMATION

ON : ID3タグ情報でトラックを表示します。
OFF : ファイル名でトラックを表示します。

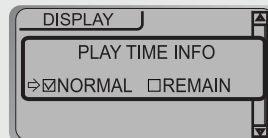
- 音楽ファイルにタグ情報がない場合、設定にかかわらず、ファイル名のみが画面に表示されます。



■ TIME

NORMAL (ノーマル) : 経過時間を表示します。
REMAIN (残り) : 残り時間を示します。

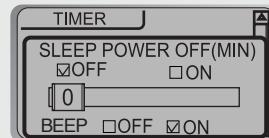
注意 : トラックフォーマットがVBR (可変ビットレート) のとき時間が正確に表示されないことがあります。



TIMER (自動電源オフ設定)

■ SLEEP

設定時間後に自動的に電源をオフにします。(時間範囲は0から180分まで1分ごとに設定できます。)
「◀◀」や「▶▶」のスイッチを使って時間を調整します。
「ナビ/メニュー」ボタンを押して警告音ON/OFFを設定します。

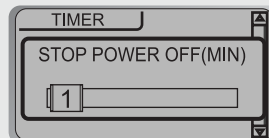


▽ 電源がオフになるとSLEEP設定はゼロに戻ります。

■ PWR OFF

停止モードで自動的に電源をオフにします。時間範囲は0から60分まで1分ごとに設定できます。

「◀◀」や「▶▶」スイッチを使って時間を調整します。



CONTROL (制御)

■ FAST SKIP

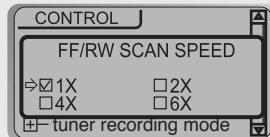
OFF : ファストスキップされません。
10 : 一度に10トラックスキップします。
DIRECTORY : 前または次のフォルダにスキップします。

これにより「◀◀」や「▶▶」スイッチのクリックと長押しの操作方法が決定します。



■ SCAN SPEED

FF (速送り) / RW (速戻し) 速度は、1倍/2倍 / 4倍/6倍の範囲に設定できます。



■ VOICE RECORDING MODE

音声を録音するときの音声品質を調整できます。

ビットレート：8Kbps～160Kbps

サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz

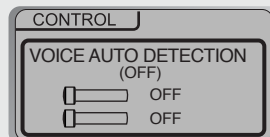


AGC ON：音声録音の時、録音レベルが自動的に制御され、遠く離れた場所からの録音の質が向上します。

AGC OFF：AGC制御を起動しません。

■ VOICE AUTO DETECTION

音声録音モードは、無音状態になると自動的に一時停止します。これは、長時間にわたる録音の場合にメモリの節約になります。



OFF：音声自動検出機能を使わない。

音声自動検出レベル：レコーダーを起動するのに必要なサウンドの相対レベルを設定します。(1-10)

録音一時停止時間の設定：一時停止前の無音状態の録音秒数。(1-10)

■ TUNER RECORDING MODE

FMチューナーから録音するときの録音品質を調整できます。

ビットレート：8Kbps～320Kbps

サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz



■ LINE-IN RECORDING MODE

外部機器から録音するときの録音品質を調整できます。

ビットレート：8Kbps～320Kbps

サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz



■ LINE-IN RECORDING VOLUME

外部機器から録音するときの録音レベルを調整できます。

(0から60まで設定できます)

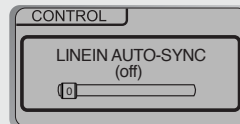


■ LINEIN AUTO-SYNC

ライン入力：CD上の各トラックごとに新しいファイルが自動的に作成されます。

- OFF：オーディオ信号検出機能を使わない。

- オーディオ信号検出時間 (1～5秒)：トラックの終了時点を判別したり新しいファイルを開始したりする際にプレーヤが使用する無音状態の継続時間。

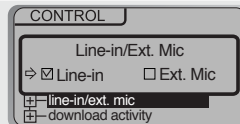


■ Line-in/Ext. Mic

録音時に外部マイクかライン入力を選択できます。

Line-In：ライン入力による録音

Ext. Mic：外部マイクによる録音



注意 外部マイクの選択時は、ライン入力モードで録音されます。
また、録音の品質とレベルはライン入力モードで設定した値に基づきます。

■ DOWNLOAD ACTIVITY

プレーヤがPCに接続されているとき、この設定を使ってオーディオファイルを再生します。
 OFF：プレーヤがPCに接続されている間、プレーヤはオーディオファイルを再生。
 ON：プレーヤが [USB CONNECTED] を画面に表示。
 プレーヤへのファイル転送が可能。



注意 プレーヤへファイルを転送するには「ON」に設定する必要があります。

■ 録音モードの設定



1. 設定する録音モードを選択する。
2. 「ナビ/メニュー」ボタンを繰り返し押し設定する項目 (AGC オン/AGCオフ、モノラル/ステレオ、サンプリングレート、ビットレート) を選択します。
3. 「◀◀」や「▶▶」スイッチを使って AGC オン/AGCオフ、モノラル/ステレオ、サンプリングレート、ビットレートの設定や選択をします。
4. 「ボリューム-」もしくは「再生/停止」ボタンを押して終了します。

注意 電池充電インジケータの点滅中 (電池残量不足をあらわす) は録音できません。録音の前に充電してください。

モード (再生モード)

■ REPEAT/SHUFFLE

リピートとシャッフルのモードの詳細設定ができます。

▼ 選択方法



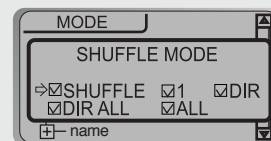
を押した後



ボタンで選択し



ボタンで終了します



△「モード/録音」ボタンを押すときは選択した再生モードだけが使用できます。
 (詳細は4-2～4-3ページを参照してください)

■ INTRO

ON (イントロ)：各トラックの最初の10秒を順番に再生します。

HIGHLIGHT ON：各トラックの1分からの10秒を順番に再生します。

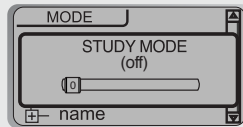


■ STUDY MODE

再生中に「◀◀」、「▶▶」レバーを少しスライドさせると、スキップして現在のトラック設定時間が早まります。

OFF : STUDY MODEを使用しない。

範囲は1~60秒。



■ NAME

ユーザーの名前やカスタムテキストを入力できます。

- ▶ 再生が停止すると、保存されたテキストが表示されます。

再生が停止 ▶

001 02:04

Total 035
iRiverMan:-)

▼ ボタン操作



「◀◀」、「▶▶」スイッチを使って文字を選択し、「ナビ/メニュー」ボタンを押して文字を入力。



ボリュームスイッチの「+」と「-」を使って名前ウィンドウ内でカーソルを移動。

A-B / EQ

A-B

MEMORY

MODE

REC

PLAY / STOP

STEREO

停止ボタンを使って英語とお好みの言語間をスクロール。

モードボタンを押して文字を削除。



保存して終了。

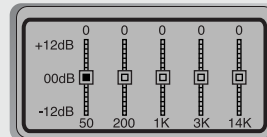
サウンド

■ Xtreme EQ

サウンドをお好みに調整できます。

5つの周波数帯域ステップがあり、-12dBから

+12dBまで3dBごとに設定します。



■ Xtreme EQの設定方法

1. 「◀◀」や「▶▶」スイッチを使って、設定する周波数ステップを選択します。



2. 「ボリューム+」や「ボリューム-」スイッチを使ってレベルを調整します。

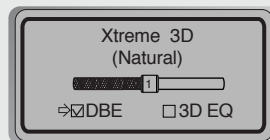


3. Xtreme EQ設定を終了するには



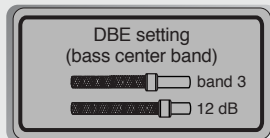
■ Xtreme 3D

3Dサウンドのレベル (Minimum、Naturalおよび Maximum) を調整できます。Bass Boostまたは3D EQを選択して、3Dサウンドを拡張できます。「◀◀」または「▶▶」レバーを使って3Dサウンドのレベルを調整することもできます。「ナビ/メニュー」ボタンを使ってDBEまたは3D EQを選択します。



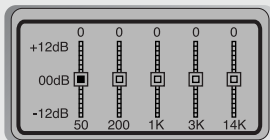
■ DBEの設定

Bass Center Bandレベル (帯域1~4) を選択できます。また、Bass Boostゲイン (3dBごとに0 dBから15dBまで) も設定できます。



■ 3D EQの設定

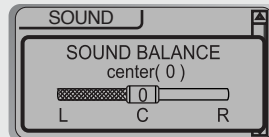
サウンドをお好みに調整できます。5つの周波数帯域ステップがあり、-12dBから+12dBまで3dBごとに設定します。



注意 3D EQの設定方法はXtreme 3Dの場合と同様です。

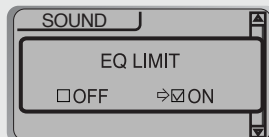
■ SOUND BALANCE

お好みに応じてサウンドのバランスを右や左にしたり中央にしたりしてください。サウンドバランスバーをL (左、0) に寄せるとサウンドはイヤフォンの左から出力します。サウンドバランスバーをR (右、40) に寄せるとサウンドは右のイヤフォンから出力します。デフォルト設定は20で、サウンドはイヤフォンの両方から同じレベルで出力します。



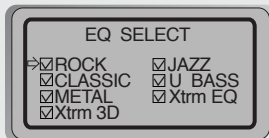
■ EQ LIMIT

ON: イコライザ周波数の制御を制限し音声の歪みを防止します。
OFF: オリジナルサウンドをお楽しみいただけますが、サウンドに歪みが生じることがあります。



■ EQ SELECT

様々なEQモードを選択できます。「◀◀」や「▶▶」を使ってEQを選択してから「ナビ/メニュー」ボタンを押します。



注意 Xtrm 3Dが選択されていなくても、Xtreme 3Dボタンは起動します。

5. プログラムの使い方

| | |
|---------|---|
| 目次..... | 5 |
|---------|---|

iRiver Music Manager

◆ IBM PC

| | |
|----------------------|-----------|
| PCソフトウェアのインストール..... | 5-1/5-5 |
| 基本ソフトウェア操作..... | 5-6/5-10 |
| プレーヤとファイル転送..... | 5-11/5-16 |
| フォルダとファイルの操作..... | 5-17/5-20 |
| その他の機能..... | 5-21/5-26 |

◆ MACINTOSH

| | |
|------------------------------------|-----------|
| Macへのインストール..... | 5-27/5-28 |
| iRiver Music ManagerのMac上での使用方法... | 5-29/5-32 |

- お持ちのPCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入します。
CDを挿入すると以下の画面が出ます。



- インストールが自動的に開始しないときは、インストールCDないの [setup.exe] ファイルを実行します。インストールプログラムが開始します。
- インストールCDには以下が含まれています。
 - デバイスドライバ
 - iRiver Music Manager
 - Manager Program for Mac
- 本製品はMP3ファイルや様々な形式のファイルを保存できます。iRiver Music Managerプログラムを使ってPCに音楽形式 (MP3、WMA、ASF) 以外のファイルを転送できます。
- www.iRiver.co.jpから最新のドライバとiRiver Music Managerのアップデータをダウンロードできます。

- Windows 2000、XPのOSを使用している方はアドミニストレータレベル (管理者レベル) でログインし、iRiver Music Managerをインストールしてください。

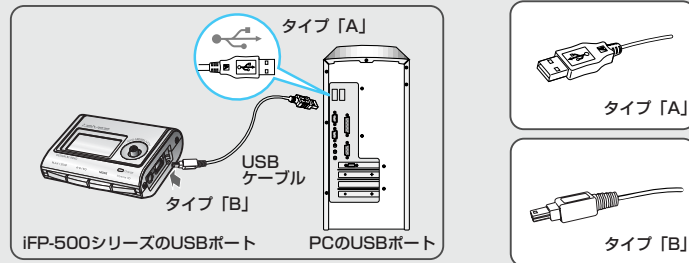
システム要件

- Pentium 133MHz以上
- USBポート
- Window 98SE / ME / 2000 / XP
- CD-ROMドライブ
- ハードディスクの空きスペース10MB

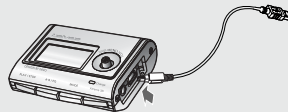
「新しいハードウェア」のインストール

※初回の接続は必ず5-3～5-4ページのソフトウェアのインストール後に行ってください。

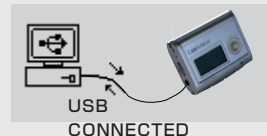
- 1 付属のUSBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続します。



- 2 プレーヤの電源を入れ、USBポートの保護カバーをはずし、USBケーブルを接続します。

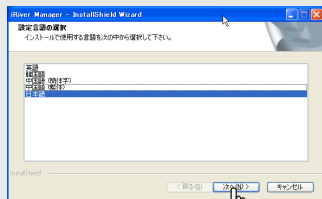


- 3 [USB CONNECTED] というメッセージがプレーヤのLCD画面に表示されます。

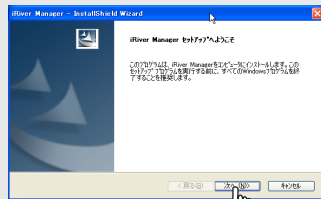


注意 エラーを避けるため再生が終了してからUSBケーブルを接続してください。

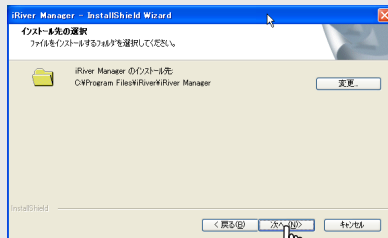
- 1 インストールする言語を選択して
[次へ] をクリックします。



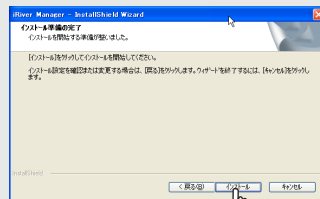
- 2 [次へ] をクリックしてiRiver Music Managerのインストールを開始します。



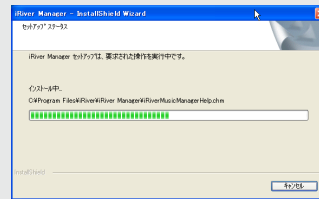
- 3 インストールするフォルダを選択し、
[次へ] をクリックします。



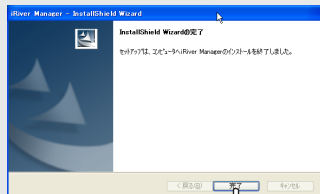
- 4 [インストール] をクリックして
インストールを開始します。



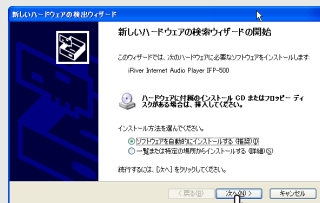
- 5 インストールが続行されます。



- 6 [完了] をクリックします。
「新しいハードウェア」のインストールが完了しました。

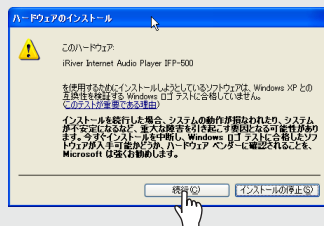


Windows XPでのインストール

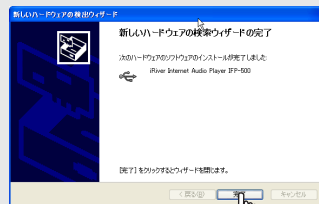


- 1 付属のCD-ROMからManagerソフトをインストール後、電源の入ったプレーヤとPCをUSBケーブルで接続すると、左図のメッセージが表示されます。
[次へ] をクリックしてドライバのインストールを開始してください。

- 2 インストール中、下図の警告文が表示されたら、[続行] ボタンをクリックして、インストールを続けてください。(付属のCD-ROMはiRiverの公式なインストールプログラムです。安全なインストールが確認されております。)



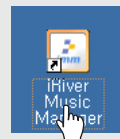
- 3 [完了] ボタンをクリックして、インストールを完了してください。



Windows 98SE、MEおよび2000ではこの設定は必要ありません。

1. 基本操作

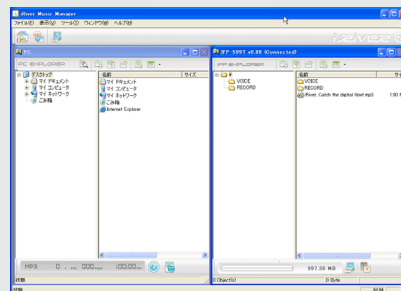
- 1 デスクトップのiRiver Music Managerアイコンをダブルクリックし、プログラムを起動します。

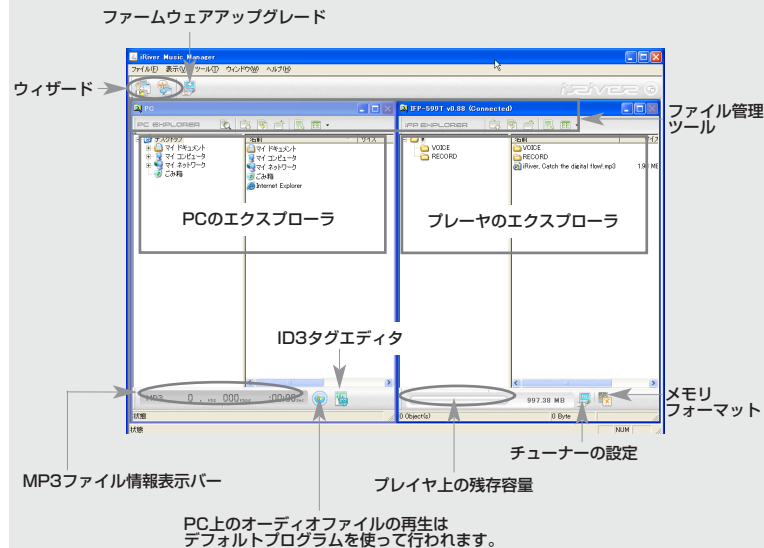


- 2 インストールされたiRiver Music Managerのバージョンが表示されます。



▼ iRiver Music Managerを最初に起動したときの画面





* 「ファイル」メニューコマンドはiRiver Music Manager（プレーヤまたはコンピュータ）内のアクティブウィンドウにのみ適用されます。

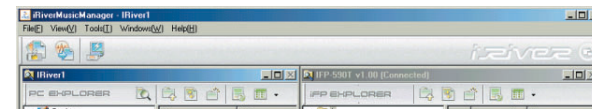
2. メニュー

1) ツールバーメニュー



- ◆ ファイル転送ウィザード：ファイルをPCからiFPプレーヤに転送
- ◆ ファイル変換ウィザード：iFPレコードファイルを他のフォーマットに変換
- ◆ ファームウェアアップグレード：iFPファームウェアをアップグレード

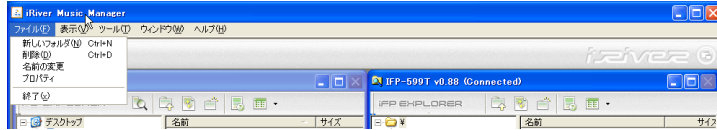
2) ファイル管理ツール



- ◆ 検索アイコン：PC上またはプレーヤ上のファイルやフォルダを検索
- ◆ 上位フォルダ選択：上部フォルダを選択
- ◆ 更新：フォルダの内容を更新します
- ◆ 新規フォルダ：新しいフォルダを作成
- ◆ プロパティ：選択したフォルダまたはファイルの詳細情報を表示
- ◆ 表示：選択したフォルダの表示方法を変更

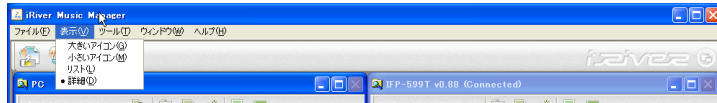
3) メインメニュー

3-1. ファイル：「ファイル」メニューコマンドはiRiver Music Manager（プレーヤまたはコンピュータ）内のアクティブウィンドウにのみ適用されます。



- ◆ 新しいフォルダ：PC上またはプレーヤ上に新しいフォルダを作成
- ◆ 削除：PC上またはプレーヤ上の選択されたフォルダまたはファイルを削除
- ◆ 名前の変更：PC上の選択されたフォルダまたはファイルの名前変更
- ◆ プロパティ：選択されたフォルダまたはファイルの詳細情報を表示
- ◆ 終了：iRiver Music Managerを終了

3-2. ビュー：「ファイル」メニューコマンドはiRiver Music Manager（プレーヤまたはコンピュータ）内のアクティブウィンドウにのみ適用されます。



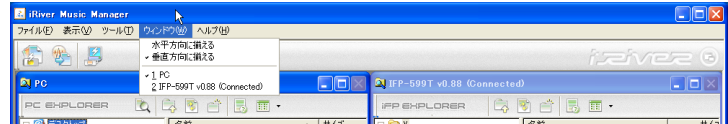
- ◆ 大きいアイコン
- ◆ 小さいアイコン
- ◆ リスト
- ◆ 詳細

3-3. ツール



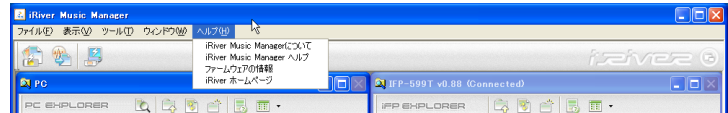
- ◆ ファイル転送ウィザード：PCからiFPプレーヤへファイルを転送
- ◆ ファイル変換ウィザード：iFPレコードファイル（***.REC）をMP3ファイルに変換
- ◆ ファームウェアアップグレード：iFPファームウェアをアップグレード
- ◆ チューナー設定：FMの事前設定されたステーションの周波数または名前を手動で編集

3-4. ウィンドウ：PCとプレーヤのウィンドウの配置を選択します



- ◆ 水平方向に揃える：PCとプレーヤのウィンドウを左右に表示
- ◆ 垂直方向に揃える：PCとプレーヤのウィンドウを上下に表示

3-5. ヘルプ



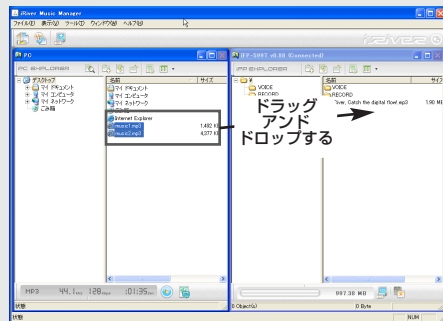
- ◆ iRiver Music Managerについて：Managerのバージョンを確認
- ◆ iRiver Music Managerヘルプ：Managerについてのヘルプを手入
- ◆ ファームウェアの情報：プレーヤに関する情報を表示。
- ◆ iRiverホームページ：iRiverホームページに接続

プレーヤとファイル転送

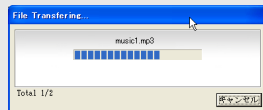
1) PCからのダウンロード

プレーヤの電源を入れPCにUSBケーブルを接続してからプログラムを起動します。

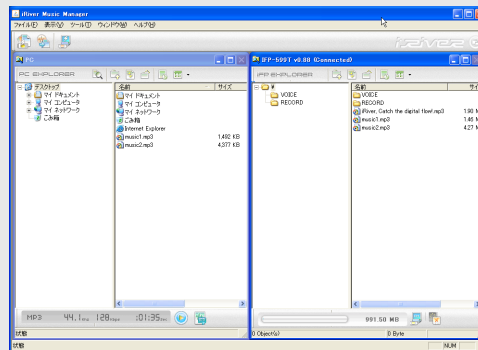
- 1 PCのフォルダやファイルを選択しプレーヤに転送します。
次に、クリックとドラッグでフォルダまたはファイルをプレーヤ上の希望する位置に移動します。



2 ダウンロードが進行します。



3 ダウンロードが完了します。



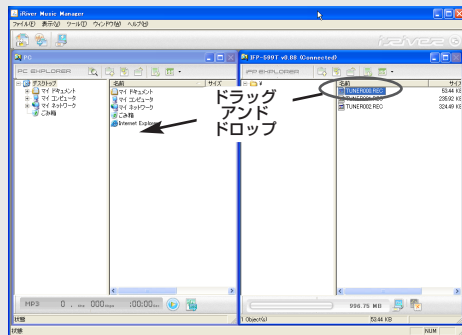
注意

- * 半角英数字127文字（日本語63文字）以上の名前のファイルは転送されません。
- * バス名ファイル名を含め半角英数字511文字以上のファイルは転送されません。
- * ルートフォルダはファイルとフォルダの総数が1024に限定されています。
サブフォルダにはファイル数の制約はありません。

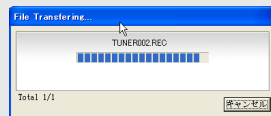
2) PCへのアップロード

プレーヤに電源を入れPCにUSBケーブルを接続してからプログラムを起動します。

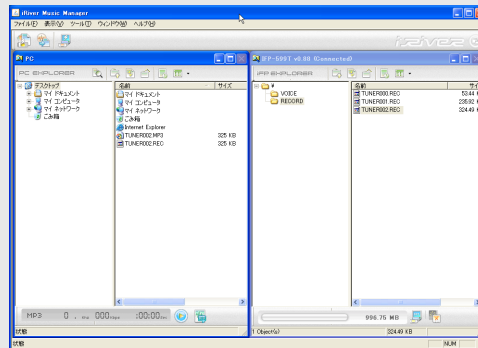
- 1 PCへ転送したいプレーヤ上のフォルダまたはファイルを選択します。
次に、クリックとドラッグでフォルダまたはファイルをPC上の希望する位置に移動します。



- 2 アップロードが進行します。



- 3 アップロードが完了します。

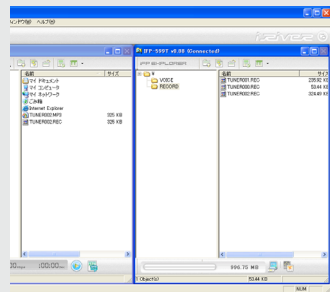
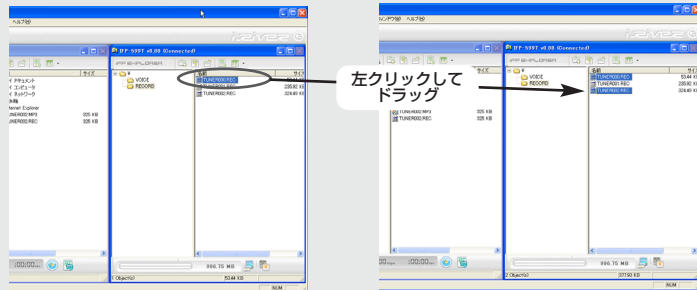


注意

- * 音楽形式のファイル（MP3、WMA、ASF）は、現行の著作権ガイドラインの規定により、プレーヤからPCにアップロードすることが禁止されています。
- * 録音したFM放送、ライン入力、音声ファイル、任意のデータファイルはPCにアップロードできます。録音したFM放送、ライン入力、音声ファイルをアップロードする際は、必ずRECファイルからMP3ファイルへの変換作業を行ってください。

3) プレーヤのフォルダやファイルの位置を変更する。

クリックとドラッグでフォルダやファイルを希望の階層に移動します。

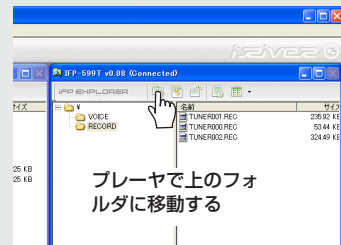
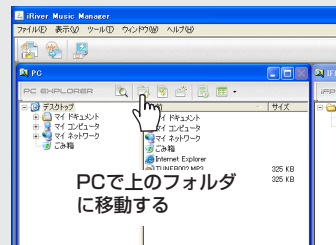


注意

- * ファイル1個またはフォルダ1個のみ移動が可能です。
- * 2つ以上のファイルやフォルダを同時に移動できません。

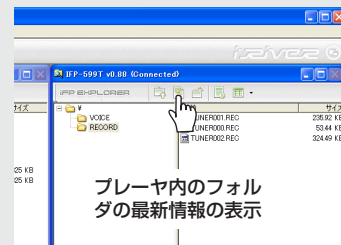
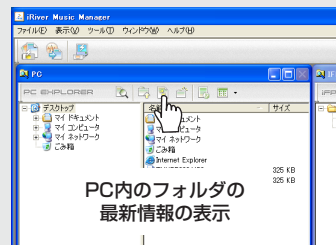
4) 上のフォルダに移動する (PCおよびプレーヤ)

iRiver Music Managerのメニューバーの【上位フォルダ】移動のアイコンをクリックします。



5) 最新の情報 (PCおよびプレーヤ)

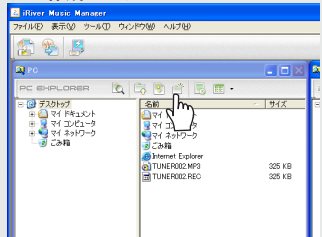
【更新】アイコンをクリックしてPCやプレーヤの内容を再表示します。



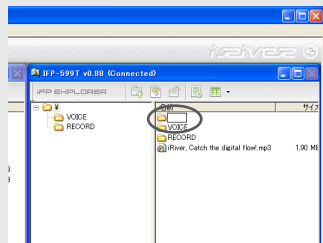
ファイル管理

1) プレーヤウィンドウがアクティブの時、新しいフォルダをプレーヤ上に作成する方法

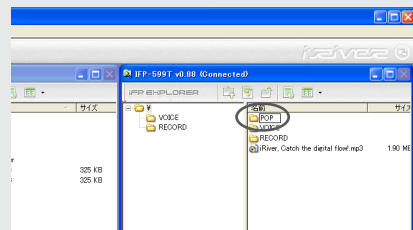
- 1 [新規フォルダ] アイコンをクリックするか、ファイルメニュー内の[新しいフォルダ]を選択して新規のフォルダを作成します。



- 2 新規フォルダが作成されます。

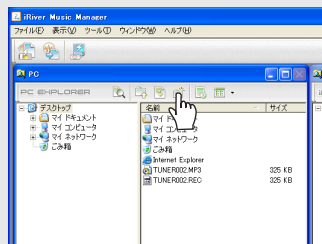


- 3 新規フォルダの名前を入力します。

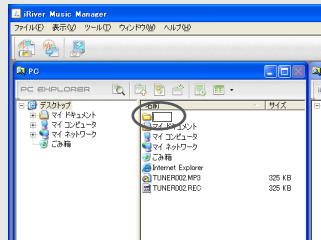


2) PCウィンドウがアクティブの時、新しいフォルダをPC上に作成する方法

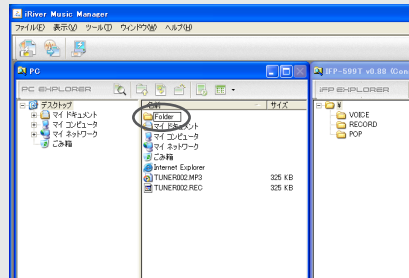
- 1 [新規フォルダ] アイコンをクリックするか、ファイルメニュー内の[新しいフォルダ]を選択して新規のフォルダを作成します。



- 2 新規フォルダが作成されます。

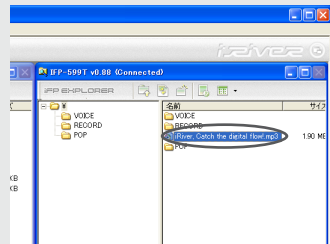


- 3 新規フォルダの名前を入力します。

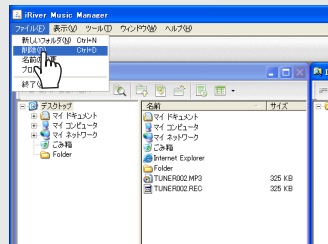


3) プレーヤウィンドウがアクティブの時、フォルダまたはファイルをプレーヤから削除する方法

- 1 Managerプログラムを起動してから、削除するファイルやフォルダを選択します。



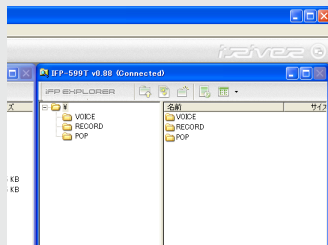
- 2 ファイルメニューで「削除」を選択してファイルを削除します。



- 3 [OK] をクリックします。

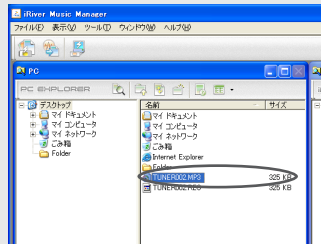


- 4 ファイルが削除されます。

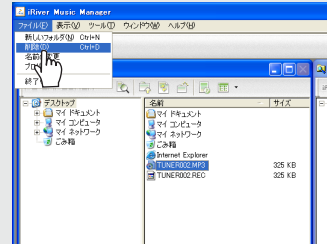


4) PCウィンドウがアクティブの時、フォルダまたはファイルをプレーヤから削除する方法

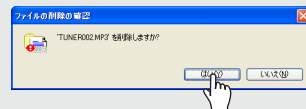
- 1 Managerプログラムを起動してから、削除するファイルやフォルダを選択します。



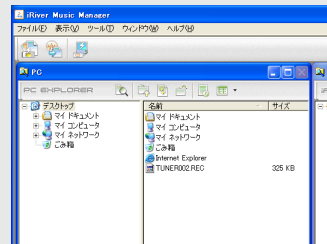
- 2 ファイルメニューで「削除」を選択してファイルを削除します。



- 3 アラートディスプレイの「はい」をクリックして削除します。



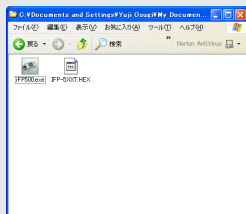
- 4 削除されました。



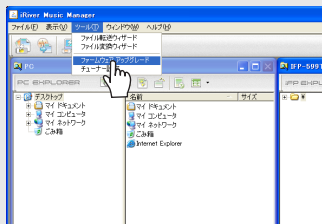
追加の機能

1) ファームウェアの手動による更新

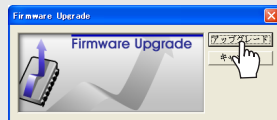
- 1 ウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードします。
ダウンロードしたファイルを解凍します。
[***.EXE] ファイルを実行すると [IFP-5XXT.HEX] ファイルが作成されます。



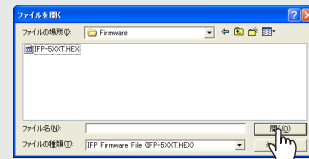
- 2 [ツール] メニューから【ファームウェアのアップグレード】をクリックします。



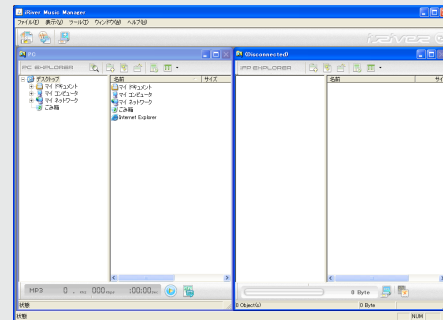
- 3 [アップグレード] をクリックします。



- 4 [IFP-5XXT.HEX] をクリックし、次に【開く】をクリックします。



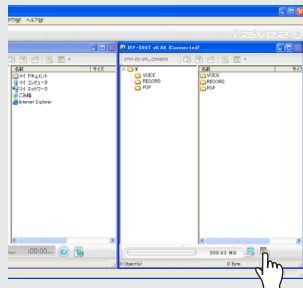
- 5 ファームウェア更新の進行中、以下のウィンドウが表示されます。プレーヤの電源がオフになったら【OK】をクリックします。



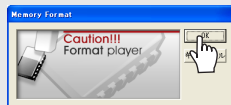
2) フォーマット

フォーマットするとプレーヤメモリの中のファイルはすべて消えます。

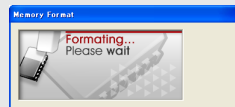
- 1 ツールボックスの【フォーマット】アイコンをクリックしてフォーマットします。



- 2 以下の警告が表示されます。
[OK] をクリックして初期化します。



- 3 フォーマット設定中です。



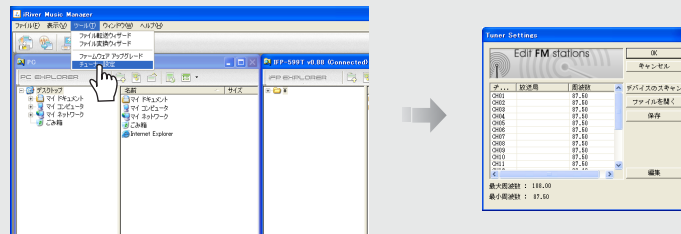
- 4 フォーマットが完了しました。
[OK] をクリックします。



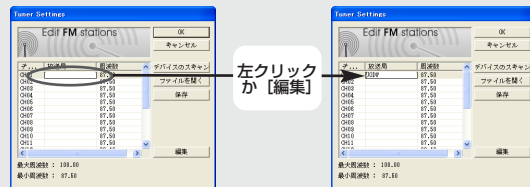
3) ラジオ局の変更

iRiver Music ManagerでPRESETされたFMラジオ局を編集できます。

- 1 【ツール】メニューから【チューナー設定】を選択してラジオのチャンネルを変更します。



- 2 FM局のリストを編集できます。

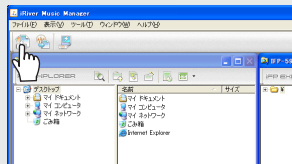


注意 局名は6文字を超えることはできません。

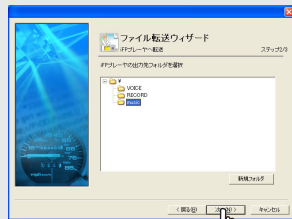
4) ファイル転送ウィザード

ファイルやフォルダをPCからプレーヤへ転送できます。

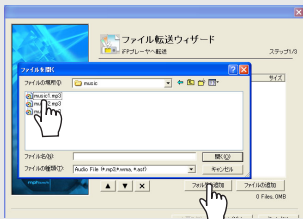
- 1 [ツール - ファイル転送ウィザード] がツールバーメニューの [ファイル転送ウィザード] アイコンを選択して、ファイルまたはフォルダを転送します。



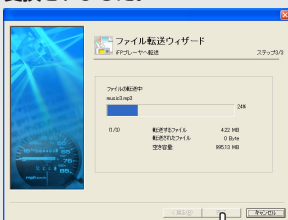
- 3 ファイルまたはフォルダを選択してから [次へ] をクリックします。次に、プレーヤに転送したいフォルダを選択してから [次へ] をクリックします。



- 2 [ファイル転送ウィザード] ウィンドウが表示されます。[ファイルの追加] をクリックして、転送したいファイルまたはフォルダを選択します。



- 4 [完了] をクリックします。ファイルが転送されました。

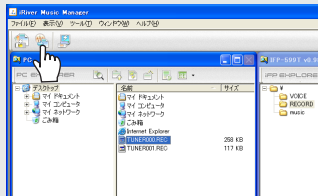


注意 このウィザードではプレーヤからPCへファイルを転送することができません。

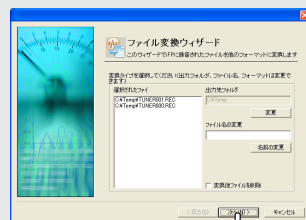
5) ファイル変換ウィザード

このウィザードはiFPLレコードファイルをMP3フォーマットに変換します。

- 1 [ツール - ファイル変換ウィザード] またはツールバーメニューの [ファイル変換ウィザード] アイコンを選択して、ファイルをMP3フォーマットに変換します。



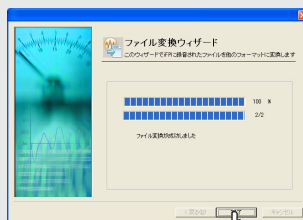
- 3 ファイルを選択してから [次へ] をクリックします。



- 2 ファイル変換ウィザードウィンドウが表示されます。[ファイルの選択] をクリックして、変換したいファイルを選択します。



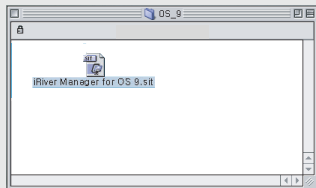
- 4 [完了] をクリックします。ファイルが変換されました。



Macへのインストール

1) Mac OS 9.2

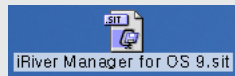
- 1 インストールCDのMAC-OSフォルダにある「MAC OS → OS 9 → iRiver Music Manager for Mac OS-9.sit」ファイルをデスクトップにコピーします。



- 3 「[VISE]」アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



- 2 「iRiver Music Manager for OS 9.sit」をダブルクリックして、iRiver Music Manager用のVISEインストールファイルを解凍します。

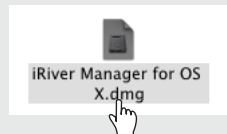


- 4 インストールしたいフォルダを選択してから「Install」をクリックします。

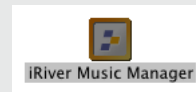


2) Mac OS X

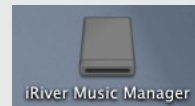
- 1 インストールCDのMAC-OSフォルダにある「MAC OS → OS X → iRiver Music Manager for Mac OS X.dmg」をダブルクリックします。「iRiver Music Manager」と呼ばれる暫定「ドライブ」アイコンがDMGファイルによりインストールされます。



- 3 これでiRiver Music Manager for OS Xが完了しました。



- 2 iRiver Music Managerのドライブを開いてiRiver Music Managerのアイコンをドックまたはデスクトップに移動します。



注意

<必要システム要件 (MAC)>

- Mac OS 9.2.2以上
- Mac OS X 10.1.4以上
- CarbonLib 1.6以上

* CarbonLibの更新方法:

OS X : Apple Menu → System Preferences → System → Software Update

OS 9 : コントロールパネル → ソフトウェア・アップデート

iRiver Music ManagerのMac上での使用方法

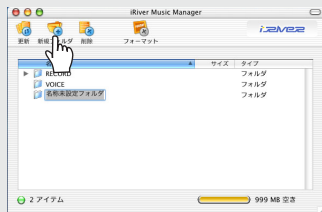
1) Macとの接続

1 プレーヤをMacに接続してからiRiver Music Managerを開きます。



2) Mac上で新規フォルダの作成

iRiver Music Managerの「新規フォルダ」アイコンをクリックします。



* ルートフォルダから始めて最大で8レベルのサブフォルダを使用できます。

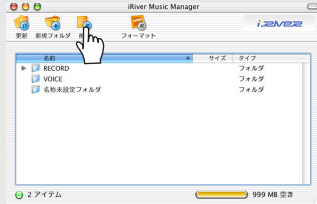
3) 最新の情報 (プレーヤ)

プレーヤの内容を表示するには「更新」アイコンをクリックします。



4) フォルダまたはファイルの削除

削除するファイルまたはフォルダを選択してから「削除」アイコンをクリックして削除します。



5) フォーマット

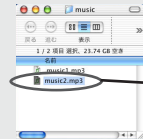
フォーマットを使用するとプレーヤのメモリ上のすべてのファイルが削除されます。

フォーマットを行うには「フォーマット」アイコンをクリックします。

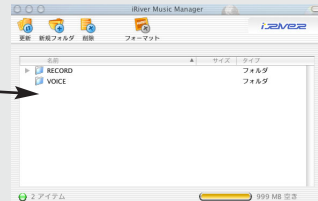


6) Macからのダウンロード

ダウンロードしたいファイルまたはフォルダを選択してからプレーヤ上のダウンロードフォルダへドラッグアンドドロップで移動します。



ドラッグ
アンド
ドロップ

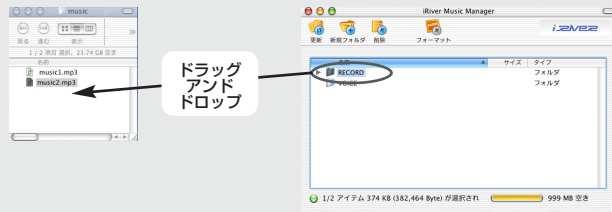


注意

- * 半角英数字127文字（日本語63文字）以上の名前のファイルは転送されません。
- * パス名、ファイル名を含め半角英数字511文字以上のファイルは転送されません。
- * ルートフォルダには合計で1024ファイルまでの制限があります。
サブフォルダにはファイル数の制約はありません。

7) Macへのアップロード

アップロードするファイルまたはフォルダを選択してからMac上のアップロードフォルダへドラッグアンドドロップで移動します。

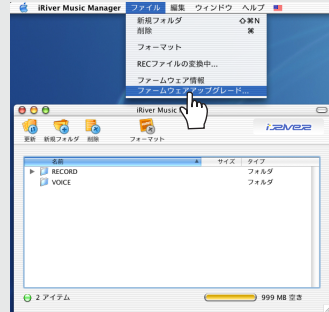


注意

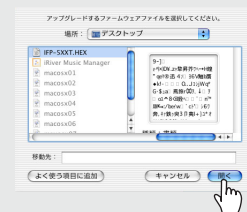
- 現存する著作権法によってプレーヤからMacへの音楽ファイル（MP3、WMA、ASF）のアップロードは不可能です。
- データファイルの他、FMから録音したファイル、外部ラインからの録音および音声ファイルのアップロードは可能です。
Macからプレーヤへの音楽ファイル（MP3、WMA、ASF）の転送は不可能です。

8) ファームウェアの更新

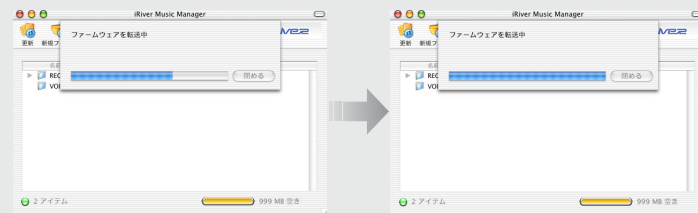
1 弊社のウェブサイトから最新ファームウェアをダウンロードします。メニュー上の「ファイル → ファームウェアアップグレード」をクリックします。



2 更新するファイルを選択してから「開く」をクリックします。



3 更新後はプレーヤが自動的にオフになります。「閉める」をクリックします。



6. 追加情報

| | |
|------------------|-----|
| 目次..... | 6 |
| トラブルシューティング..... | 6-1 |
| 注意..... | 6-2 |
| 付属品..... | 6-3 |
| 仕様..... | 6-4 |
| 動作環境..... | 6-5 |
| アフターサービス..... | 6-6 |

- 以下の事項を確認したのちも問題解決されない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

| | |
|---------------------|---|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> ● プレーヤの「ホールド」ボタンが解除されているかを確認してください。 ● 電池が切れている可能性があります。PCとプレーヤ間にUSBケーブルを接続してから充電してください。 |
| イヤホンから音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● 「ボリューム」が「0」に設定されているか確認してください。イヤホン/リモコンのプラグをしっかり接続してください。 ● プラグが汚れているか確認してください。プラグを乾いた柔らかい布で拭いてください。 ● MP3やWMAファイルが壊れていると静電雑音を生じたりサウンドが途切れることがあります。PCでファイルを聞いてみて、壊れているか確認してください。 |
| LCD画面の文字が文字化けしている | <ul style="list-style-type: none"> ● メニュー→「Display」→「Language」を確認して正しい言語が選択されているか確認してください。(4-11ページを参照してください) |
| FMがクリアに受信されない | <ul style="list-style-type: none"> ● プレーヤとイヤホンの位置を調整してください。 ● プレーヤの近くの電気機器の電源をオフにしてください。 ● イヤホンのコードにはアンテナ機能があります。良好に受信するには接続しなければなりません。 |
| MP3ファイルのダウンロードができない | <ul style="list-style-type: none"> ● 電池が切れていないか調べ、必要なら充電してください。 ● PCとプレーヤの接続を確認し、ケーブルに問題がないことを確認してください。 ● Managerプログラムが確実に動作していることを確認してください。 ● プレーヤのメモリ残量が十分であるか確認してください。 |

安全

- **プレーヤを落としたり強い力で押さえたりしないでください。**
プレーヤは歩いたり走ったりしても動作するように設計されていますが、プレーヤを落としたり強く押さえたりすると壊れることがあります。
- **プレーヤを濡らさないでください。**
プレーヤが水に濡れるとプレーヤ内部部品が壊れることがあります。プレーヤが濡れたときはできるだけ早く外部を柔らかい布で拭いてください。

ヘッドフォンとイヤホン

- **路上での安全**
自動車、自転車その他の乗り物を運転するときはヘッドフォンやイヤホンを使用しないでください。交通事故がおこることがあり、地域によっては違法です。歩行中にヘッドフォンのボリュームを上げて演奏すると特に交差点で危険が生じることがあります。危険な可能性のある場合は特に注意して使用するか使用をやめるのがよいでしょう。
- **聴覚障害の予防**
ヘッドフォン/イヤホンの大音量での使用を避けてください。聴覚専門科は大音量での長時間演奏継続はよくないとしています。耳鳴りがするときはボリュームを下げるか使用を中止してください。
- **その他**
音量を中程度にしてください。外部の音も聞こえ、周囲の人にも迷惑がかかりません。

- 1 イヤホン/
イヤホン用スポンジ



- 2 USBケーブル



- 3 インストール
CD-ROM



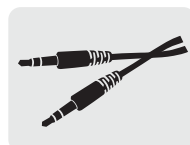
- 4 取扱説明書/保証書



- 5 携帯用ネック
ストラップ



- 6 オーディオケーブ
ル (ライン入力)



- 7 ACアダプタ



- 8 アームバンド



- 9 キャリーケース



* 付属品は予告なしに変更することがあり、写真とは異なる場合があります。

| メモリ | 256 MB | 512 MB | 1 GB |
|------|---------|---------|---------|
| モデル名 | iFP-590 | iFP-595 | iFP-599 |

* メモリは拡張できません。

| カテゴリ | 項目 | 仕様 | | |
|--------------|---------------|--|-------------------------------|-----------------------------|
| FM チューナー | FM周波数帯 | 76.0 MHz ~ 108 MHz | | |
| | 最大ヘッドホン 出力 | (L) 12 mW + (R) 12 mW (16 Ω) (L) 7 mW + (R) 7 mW (32 Ω) | | |
| | S/N比 | 50 dB | | |
| | アンテナ | ヘッドホン/イヤホン コードアンテナ | | |
| | 寸法 | 64 x 51 x 19.1 mm | | |
| オーディオ | 重量 | 60 g (電池あり) | | |
| | 周波数範囲 | 20 Hz ~ 20 KHz | | |
| | 最大ヘッドホン 出力 | (L) 12 mW + (R) 12 mW (16 Ω) (L) 7 mW + (R) 7 mW (32 Ω) | | |
| | S/N比 | 90 dB(MP3) | | |
| | ファイル形式 | MPEG 1/2/2.5レイヤ3、WMA、ASF (注) | | |
| ファイル サポート | ビットレート | 8 Kbps ~ 320 Kbps | | |
| | タグ情報 | ID3 V1、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0、ID 3 V2 4.0 | | |
| MP3 エンコーディング | | MPEG 1/2/2.5レイヤ3 | | |
| LCD | | フルグラフィック4ラインバックライト | | |
| 言語 | | 39言語 | | |
| 音声録音 | | 約72 : 00時間 (8kbps、256 MB) | 約144 : 00時間 (8kbps、512 MB) | 約288 : 00時間 (8kbps、1 GB) |
| 最長再生時間 | | 約28時間 (128 kbps、MP3再生時、ボリューム20、EQノーマル) | | |
| USB | | USB 1.1 | | |
| 動作温度 | | 摂氏-5度~40度 | | |

注：Windows Media Player9で作成したWMAファイルの再生には対応しておりません。

PC

対応OS: Windows 98SE / ME / 2000 / XP
 CPU: Pentium 133MHz 以上
 メモリ: 10MB 以上の空き容量
 ドライブ: CD-ROM ドライブ必須
 インターフェース: USB インターフェース (標準装備に限り)

※動作環境を満たすパソコンの中でも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。

<動作環境に関するご注意>

- ◎Windows 95/3.1、Windows 98、Windows NTでは動作いたしません。
- ◎Windows 2000は、Windows 2000 Professionalのみ保証対象となります。
- ◎以下の条件では動作保証いたしません。
 - ・Windows OSをアップグレードしたパソコン
 - ・USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコン。

Macintosh

対応OS: Mac OS 9.2.2 以上
 Mac OS X 10.1.4 以上
 CarbonLib: 1.6 以上
 メモリ: 10MB 以上の空き容量
 ドライブ: CD-ROM ドライブ必須
 インターフェース: USB インターフェース (標準装備に限り)

※動作環境を満たすパソコンの中でも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。

1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より【購入日】と【販売店印】欄などの記入をお受けください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証書規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバー・ジャパンサポートセンター
0120-266-551 E-mail: info@iriver.co.jp

受付時間: 月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 (土、日、祝祭日を除く)

ホームページアドレス <http://www.iRiver.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝5-31-16 YCCビル 7F

まことに恐れ入りますが、年末年始等のサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合がございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、まことに恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

<ご注意>

◎本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配付、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。◎本製品での使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。◎本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の保証はご容赦ください。◎イヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車等の乗り物を運転するときや、道を横断するときなどは絶対ににお使いにならないでください。また、音量を上げ過ぎて、周囲の迷惑にならないようご注意ください。◎本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。◎記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

<商標について>

- ◎iRiverは、大韓民国およびその他の国における iRiver Limited の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- ◎Microsoft Windows Media および Windowsロゴは、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ◎その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。